



9月20日から26日は **動物愛護週間**



動物は 正しく飼って 楽しく暮らそう!



いぬとねこの正しい飼い方を一緒に学ぼう!

ねこの生活

不妊去勢手術

1頭のメス猫から1年後には20頭以上、2年後には80頭以上に増える可能性があります。望まない繁殖を防ぐために手術が必要です。



手術のメリット

猫自身のストレスを軽減したり、生殖器の病気になりにくくなったり、おしっこでマーキングしたりすることが少なくなる可能性もあるよ。

迷子札

迷子になった時のために、飼い主の名前や連絡先を書いた迷子札を首輪にかけましょう。さらに、マイクロチップを着けて二重に対策することも大切です。



室内飼育

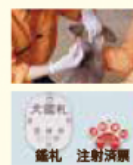
猫にとって屋外は危険がいっぱいです。室内にくつろげる場所や上下運動等のできる環境を整え、屋外に出さないようにしましょう。



いぬとの生活

登録と狂犬病予防

飼い犬を市役所・町役場で登録し、証明として鑑札を着けましょう。また、狂犬病の予防注射を毎年1回受け、証明として注射済票を着けましょう。



迷子札も忘れずに!

猫と同じように迷子札やマイクロチップを着けましょう。万が一犬が迷子になっても、見つかる可能性が高くなります。

しつけ

飼い主が愛犬にとって信頼されるリーダーになることが大切です。うまくできたら“ごほうび”を与えて、ほめてあげましょう。毎日繰り返すことで確実に愛犬は進歩してくれれます。



マナー

放し飼いをしない
放し飼いは、禁止されています。必ず庭につないだり、散歩の時はリードをつけましょう。

鳴き声対策

しつけや室内飼育するなど、鳴き声で迷惑をかけないようにしましょう。

フンの始末

散歩中の「フン」の片付けを必ず行いましょう。

ペットは家族の一員、責任をもって最後まで大切に飼いましょう!

愛媛県・松山市・(公社)愛媛県獣医師会



さいがい
災害に
そな
えよう!

ひととペットと災害



どうこうひなん 同行避難

地震や洪水など災害が起きて、安全な場所に避難するときは、ペットと一緒に避難しましょう。そのため、一緒に避難できる数のペットを飼いましょう。



ひごろそな 日頃の5つの備え

ぼうさい 1 ペットの防災セット

エサは5日分は用意しましょう。フード、水、薬など命や健康に関わるもの、トイレ用品やキャリーバッグなどもまとめて保管しておきましょう。



まいごたいさく 1 迷子対策

災害時にはペットと離れ離れになることも。そのために、首輪に飼い主の連絡先を書いた迷子札を着けたり、マイクロチップを着けて、すぐに飼い主が分かるようにしましょう。

ひなんばしょかくにん 1 避難場所の確認

災害が起きると道が通れなくなることもあります。避難場所へ行く道をいろいろ調べて、かかる時間や危険な場所を確認しておきましょう。

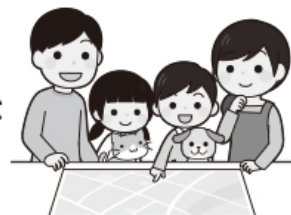
な 1 ケージに慣れさせる

避難場所では人の迷惑にならないように、ケージの中もおとなしくいられるよう普段からケージに慣れさせておきましょう。



あずさきかくほ 1 預かり先の確保

どうしても避難所で一緒に過ごせないときのために、ペットを預かってくれる人や場所を探しておきましょう。ご近所や飼い主仲間と助け合えるように話し合しましょう。



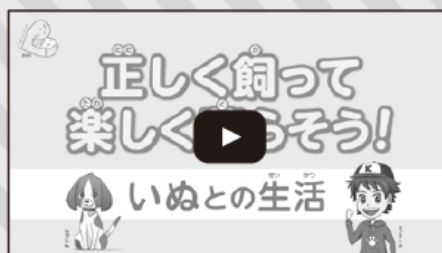
どうが
動画で
まな
学ぼう!

いぬねこただかかた 犬と猫の正しい飼い方

愛媛県における犬や猫を取り巻く環境や、正しいペットの飼い方などを県民のみなさんに知ってもらうため、動画を制作しました。ぜひ、ご覧ください。



ねことの
せいかつへん
生活編



いぬとの
せいかつへん
生活編



ペットと
さいがいへん
災害編



詳しくはホームページもご覧ください。

愛媛県 動物の愛護と管理

検索

